

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公開番号】特開 2016-222670 (P2016-222670A)

【公開日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-070

【出願番号】特願 2016-111341 (P2016-111341)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

C 1 1 D 7/22 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 3/22 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

C 0 8 F 220/60 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/81

C 1 1 D 7/22

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 3/22

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 Q 5/02

C 0 8 F 220/60

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

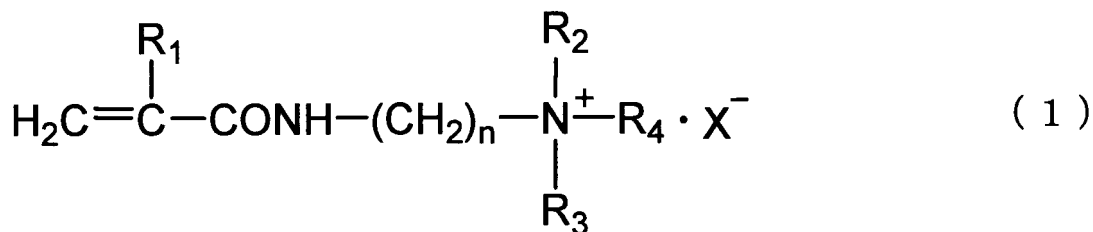
【請求項 1】

下記一般式 (1) ~ (3) で表される単量体 (a)、(b) 及び (c) に由来する構成単位を有するカチオン性基含有共重合体であって、各構成単位の割合が、単量体 (a) 由来の構成単位が 30 ~ 80 重量%、単量体 (b) 由来の構成単位が 10 ~ 40 重量%、単量体 (c) 由来の構成単位が 10 ~ 40 重量%である (A) カチオン性基含有共重合体と、

(A) 以外の (B) カチオン性高分子とを含有してなる洗浄剤組成物。

単量体 (a)

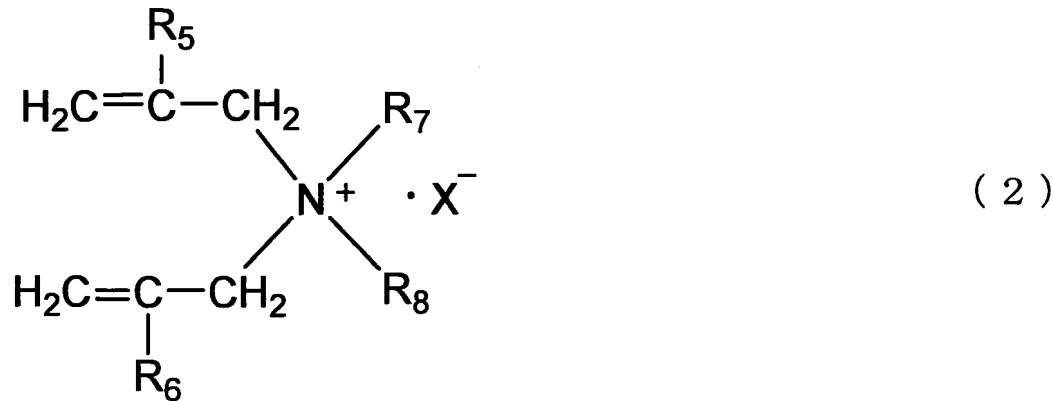
【化 1】



(式中、 R_1 は水素原子又はメチル基を表し、 R_2 、 R_3 及び R_4 はそれぞれ独立して炭素数 1 ~ 4 のアルキル基又はアルケニル基を表し、 X^- は酸の共役塩基、ハロゲン原子又は炭素数 1 ~ 4 のアルキルサルフェート基を表し、 n は 1 ~ 5 の整数を表す。)

単量体 (b)

【化 2】



(式中、 R_5 及び R_6 はそれぞれ独立して水素原子又はメチル基を表し、 R_7 及び R_8 はそれぞれ独立して炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはアルコキシ基を表し、 X^- は酸の共役塩基、ハロゲン原子又は炭素数 1 ~ 4 のアルキルサルフェート基を表す。)

単量体 (c)

【化 3】



(式中、 R_9 は水素原子又はメチル基を表し、 R_{10} 及び R_{11} はそれぞれ独立して水素原子又は炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはアルケニル基を表す。)

【請求項 2】

前記カチオン性基含有共重合体における各構成単位の割合が、単量体 (a) 由来の構成単位が 40 ~ 70 重量%、単量体 (b) 由来の構成単位が 15 ~ 35 重量%、単量体 (c) 由来の構成単位が 10 ~ 40 重量%である、請求項 1 に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 3】

前記 (A) カチオン性基含有共重合体を 0.01 ~ 10 重量%含有する請求項 1 又は 2 に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 4】

前記 (A) カチオン性基含有共重合体の重量平均分子量が 10 万 ~ 500 万である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 5】

前記 (B) カチオン性高分子が、塩化 O - [2 - ヒドロキシ - 3 - (トリメチルアンモニオ) プロピル] ヒドロキシエチルセルロース、塩化 O - [2 - ヒドロキシ - 3 - (トリメチルアンモニオ) プロピル] グァーガム、塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体、及びアクリルアミド・アクリル酸・塩化ジメチルジアリルアンモニウム共重合体の中から選ばれる 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の洗浄剤組成物。

【請求項 6】

更に (C) アニオン性界面活性剤を含有してなる請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の

洗淨劑組成物。